

## 平成 23 年度第 1 回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

### 1 日時，会場

平成 23 年 6 月 16 日（木）18:25～20:20  
宇品老人いこいの家（南区宇品御幸四丁目）

### 2 出席者

会長外 14 名出席

### 3 議事要旨

#### (1) 協議会の進行

平成 22 年度第 7 回協議会の議事概要の確認  
追加確認書調印式の概要についての確認  
協議会組織の変更について  
平成 22 年度整備工事及び平成 23 年度整備工事計画について  
平成 23 年度周辺環境調査計画について  
地域振興策の検討の進め方について

#### (2) 発言要旨

##### 【協議会組織の変更について】

- ・（会長）財団法人広島県環境保全公社から委員として就任してもらいたい。  
（異議なし）
- ・出島地区の委員について，2 名から 3 名に増やしてもらいたい。  
各地区の意見を個別に聞いた上で事務局案を提示する。

##### 【平成 22 年度整備工事及び平成 23 年度整備工事計画について】

- ・側面のケーソンに対し，上部の覆土が薄すぎるのではないかと考えている。  
法の基準を十分に満たした厚さの覆土となっており，廃棄物の飛散のおそれはないものと考えている。
- ・遮水機能モニタリングについて記載してあるが，埋め立てた後の漏れについてのモニタリングは計画しているのか。  
埋め立てた後のモニタリングについても当然やって参ります。
- ・廃棄物の埋立期間は 10 年とされているが，覆土については期間を定めていないのか。  
廃棄物の受入れと並行して覆土していくこととなるが，具体的な内容については協議会で随時説明しながらやって行く。
- ・工程表を見ると使用前検査の途中から搬入が始まるようになっている。  
受入開始時期に幅を持たせているため，一部使用前検査と重なっているような表記となっているが，実際には使用前検査が完了する前に受入を開始することはない。今後は，誤解が生じないよう表記の仕方を工夫する。

- ・受入開始時期を明確に定め、それに合わせて必要なスケジュールを調整すべきではないか。  
できるだけ早く受入開始したいという思いは持っている。受入施設の設計が決まった段階で、時期が明確になる。次回協議会でどれだけのものが示せるか、努力する。
- ・市が実施する検査について、遮水シートの検査方法を教えてもらいたい。  
接合部の強度については、空気圧をかけて漏れがないことを確認している。海中の状況については、ダイバーが撮影した写真により確認している。
- ・検査の状況について写真等の資料を提供してもらいたい。  
提供する方向で、具体的な内容について検討する。
- ・使用前検査の要綱はできているのか。  
まだできていないが、今後、様々なデータを踏まえた上でより確度の高い確認方法を検討したいと考えている。まとめ次第協議会の場で説明する。
- ・モニタリング用のパイプの検査についてはどのようになっているか。  
処分場完成後に検査できるものなので今回の資料には明示していないが、きちんと検査しておく。

#### 【地域振興策の検討の進め方について】

- ・地域振興策の検討部会の開催回数は。  
9月までの間に2回程度開催し、振興事業について検討したい。トータルでは4~5回の開催になると考えている。
- ・(会長) 地域振興策の検討については、事務局提案のとおり進めてよいか。  
(異議なし)

担当事務局  
広島県環境県民局産業廃棄物対策課  
TEL : 082 - 513 - 2964 (ダイヤルイン)